

5. 主な報道発表 (2021年4月2日以降)



◀こちらから当社ホームページをご覧ください

詳細な内容は当社ホームページ <http://www.japc.co.jp> をご覧ください。

4月22日	敦賀発電所の低レベル放射性廃棄物の輸送について 当社は本年4月、敦賀発電所の低レベル放射性廃棄物を日本原燃株式会社の低レベル放射性廃棄物埋設センター（青森県六ヶ所村）へ輸送します。 このため、低レベル放射性廃棄物専用の運搬船「青栄丸」が4月23日に敦賀発電所に入港します。 出港は、専用コンテナ92個（充填固化体のドラム缶736本）の積み込み作業など終了後の4月25日を予定※しています。 ※青栄丸は予定どおり4月25日出港しました。
4月23日	当社社員の新型コロナウイルス感染について 当社は、4月23日、敦賀発電所に勤務する当社社員1名が、新型コロナウイルスに感染していることを確認しました。 当社としては、当該社員が4月19日まで敦賀発電所で勤務していた実績を踏まえ、当該社員が勤務を行っていた場所の消毒を実施しました。 当社では、これまで新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止対策を実施しており、発電所の運営に影響はありません。引き続き、感染拡大防止に努めてまいります。

げんでんふれあいギャラリー展示のお知らせ



◀こちらから げんでんふれあいギャラリーのホームページをご覧ください

◆南公民館 切り絵教室 葉月会 5月11日(火)～16日(日)

南公民館で活動している切り絵教室 葉月会（代表：森本 裕子 様）の皆さまによる作品展です。風景や人物など、様々なテーマの切り絵作品36点を展示予定です。

◆げんげんしゃ 小品展Ⅱ 5月18日(火)～23日(日)

玄々社（代表：千葉 半生 様）の皆さまによる書の作品展です。それぞれの思いを筆や紙、墨を選んで表現された作品30点を展示予定です。

◆マイ タイニー キルト ビバ キルト My Tiny Quilt第3回Viva☆Quiltパッチワーク教室作品展

6月1日(火)～6日(日) 最終日は15:30まで

Viva☆Quilt パッチワーク教室（代表：上田 佳恵 様）の9名の皆さまによる作品展です。ポーチや干支人形など身近に飾れる小さいキルト作品を中心に、個性の光る作品50点を展示予定です。

げんでんふれあいギャラリー
フリーダイヤル 0120-749-201
開館時間 10:00～16:30※

敦賀市本町2丁目9-16
FAX 0770-25-5603
休館日 12月29日～1月3日

※新型コロナウイルス感染予防対策のため、開館時間を短縮しています。

<http://www.japc.co.jp/tsuruga/fureai/event/index.html>



感染防止徹底宣言ステッカーを取得しています



げんでんふれあいギャラリーで、発電所の内部を見てみませんか？

げんでんふれあいギャラリーのタブレットで、普段見ることができない発電所の内部を映像と音声でわかりやすくご説明します。お立寄りの際は、ぜひご覧ください！



タブレットで発電所の内部をご覧になるお客さま ▼



敦賀発電所1号機・2号機の内部をタブレットでご覧いただけます。

タブレットの画面をタッチして見たい方向に動かすと画面が移動します

本資料の作成元・お問合せ先：日本原子力発電株式会社（略称：げんでん）敦賀事業本部 立地・地域共生部

TEL: 0770-25-5713 住所：敦賀市本町2-9-16



げんでん いんふおめーしょん5月号

2021年5月7日

No.201

1. 敦賀発電所の状況 (2021年5月7日現在)

プラント (炉型)	状 況
1号機 (沸騰水型) 	●2017年5月15日より廃止措置工事実施中（廃止措置期間：24年） ○2015年4月 営業運転終了 ○第4回定期事業者検査中（2021年4月1日～7月下旬予定） ○補助ボイラーおよびコールドエバポレーター解体工事中（2021年2月22日～） ○タービン補機冷却系熱交換器解体工事中（2021年2月22日～） 廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。
2号機 (加圧水型) 	電気出力 116.0万 kW, 1987年2月17日の営業運転開始以降の総発電電力量 1922億 9908.3万 kWh ●2011年8月29日～ 第18回定期検査中 ○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。 ○2015年11月5日に新規規制基準への適合性確認審査のための申請を行い、現在審査対応中です。対応状況は、以下をご覧ください。

＝敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について＝

原子力規制委員会による審査は、敷地内破砕帯評価と地震動評価（地震の揺れ）の二つの論点について並行して進められています。

昨年2月の審査会合で、敷地内破砕帯評価に関して、発電所敷地北側にある断層（K断層）と2号機原子炉建屋直下にある破砕帯との関連性について当社から説明いたしました。当初審査資料に記載していたボーリングコアの肉眼による観察結果を削除し、詳細データである顕微鏡によるコアの薄片観察結果のみの記載に変更したことについて、不適切であるとのことご指摘を受けました。

このご指摘に対しては、その後の審査会合において記載の変更に至った経緯や理由、資料作成業務の改善点などを説明した結果、適合性確認審査が継続されることとなり、また審査とは別に、原因分析の内容や業務の改善状況について、原因調査分析に係る検査（品質保証に係る検査）の中で確認していくこととなりました。現在、品質保証に係る検査において内容確認が進められており、今後、報告書として取りまとめまいります。

敷地内破砕帯評価については、すでにご指摘も踏まえた審査資料を提出済みであり、また、地震動評価（地震の揺れ）については審査資料の準備を鋭意行っております。今後、準備が整い次第、適合性確認審査を再開したいと考えております。

当社は、引き続き、品質保証に係る検査ならびに適合性確認審査について、真摯に対応してまいります。

2. 敦賀発電所3, 4号機準備工事の状況 (2021年5月7日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。



建設予定地の状況 (2021年4月26日撮影)

敦賀発電所全体配置図

若狭湾

建設予定地

2号機

1号機

浦底湾

3. トピックス

(1) 2021 年度 新入社員を迎えて

2021 年度、当社は 42 名の新入社員を迎え、4 月 1 日に入社式を行いました。入社式は、新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点からオンラインを用いて東海・敦賀での分散開催とし、敦賀の会場となった敦賀総合研修センターでは 18 名が入社式に臨みました。

村松社長から、「若くイノベティブなアイデアと実行力次第で当社や原子力事業の姿は大きく変わる。安全と健康に留意し、志を持ってたくましく成長して欲しい」と挨拶がありました。

その後の辞令交付では、新入社員一人ひとりの名前が呼ばれ、新入社員代表に辞令が渡されました。

入社式の後、学生から社会人への円滑な移行ができる素養を身につけるとともに、業務を遂行していくうえでのベースとなる基礎知識の習得を目的に、4 月 14 日までオンラインを活用した新入社員研修を行い、社会人として基礎となるマナー研修、ビジネスコミュニケーション研修、原子力発電の基礎教育として原子力発電の仕組み、放射線管理の基礎、職場の安全衛生、現場作業に潜む危険を疑似体験することで安全意識と危険回避能力を育む安全体感実習などを受講しました。新入社員は日がたつにつれ緊張も和らぎ、積極的に受講していました。



敦賀事業本部長による辞令交付



放射線管理の基礎
(測定器での体表面放射性物質付着の確認)



安全体感実習(身だしなみチェック)
身だしなみチェック「ヘルメット、ヨシ！」

祝新入社員



2021 年度 入社式
オンラインによる社長挨拶

(2) 福井県嶺南 E コースト計画室による敦賀発電所 1 号機ご視察

4 月 13 日、福井県嶺南 E コースト計画室長をはじめ、同室員の方々が敦賀発電所 1 号機をご視察されました。「嶺南 E コースト計画室」とは、福井県の「嶺南 E コースト計画」を着実に推進するために設置された福井県地域戦略部電源地域振興課内の部署であり、本年 4 月 1 日から敦賀市の嶺南振興局内に室が移され、体制が強化されています。同室には当社から要員 1 名を派遣し、原子力リサイクルビジネスのプロジェクトなどに協力させていただいております。

ご視察においては、敦賀発電所 1 号機廃止措置工事の現場や低レベル放射性廃棄物の保管状況をご確認いただき、今後のクリアランス物のリサイクルビジネス実現などに向けご理解を深めていただきました。

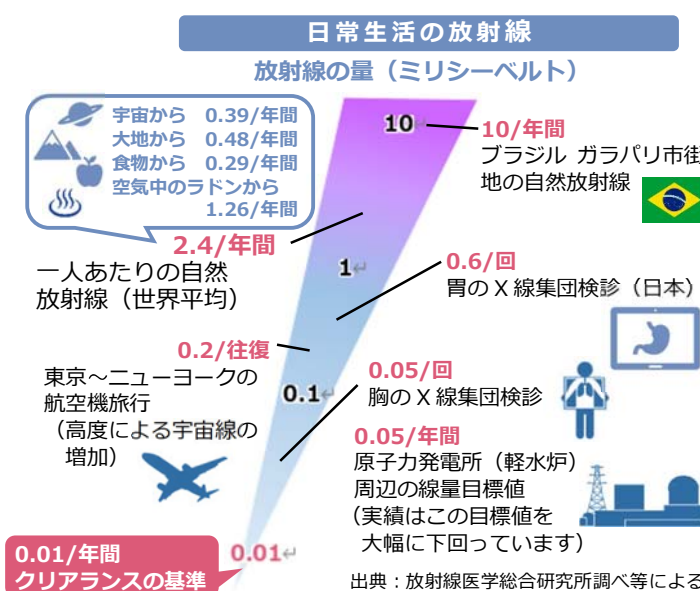
クリアランスとは

原子力発電所の解体などで発生する金属やコンクリートなどについて、放射性レベルが極めて低いものを一般のリサイクル物や産業廃棄物として再利用または処分できることをクリアランス制度といいます。わが国では 2005 年度(平成 17 年度)に法令が改正され、クリアランス制度が導入されました。

クリアランス制度によるリサイクルは、地球環境への負荷を低減し、わが国が目指す循環型社会の形成に寄与します。

原子力発電所から搬出されたものが、どのように加工、再利用あるいは廃棄物として埋め立てられたとしても、人体への影響は無視できると国際原子力機関(IAEA)が認めている 1 年あたりの被ばく量が **0.01 ミリシーベルトを超えない**ことをクリアランスの基準として決められています。これは、自然放射線の 1/100 以下です。

当社は、東海発電所の解体で発生した撤去物(金属)を、クリアランス基準値以下であるという国の確認を受け、ベンチやテーブルの脚などに再利用し、クリアランス制度対象物の再利用に努めています。



(3) クリアランスベンチを設置しました

本紙 2020 年 9 月号・12 月号において、福井県が策定した「嶺南 E コースト計画」における「クリアランス制度の社会定着に向けた理解促進活動」の一環とした県内各機関へのクリアランスベンチ設置についてお知らせしましたが、今般、福井大学、福井工業高等専門学校および福井南高等学校からもご理解・ご協力を賜り、当社の東海発電所から発生したクリアランス金属で作製したクリアランスベンチおよびクリアランス制度の紹介パネルを設置させていただきました。また、福井南高等学校では、かねてから授業で高レベル放射性廃棄物の処理の問題を取り上げるなど、原子力に関わる議論に積極的に取り組まれており、今回、クリアランスベンチ設置にあっても、当社の取組みに賛同していただき、セレモニーを開催していただきました。セレモニーにおいて当社は、クリアランス制度、エネルギーミックスなどについて生徒の皆さんに説明しました。

当社は、これからもクリアランス制度に対する県民の皆さまの理解促進に努めてまいります。

福井南高等学校に設置された
クリアランスベンチ



福井大学文京キャンパス(4 月 19 日設置)



福井工業高等専門学校(4 月 20 日設置)

クリアランスベンチと
クリアランス制度紹介
パネル



福井南高等学校(4 月 21 日設置)
写真はセレモニーの様子

4. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ

敦賀総合研修センターでは、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じたうえで、29 コースの公開研修を計画しています。以下は申込み期限が近づいている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細、応募方法は、QR コード※または下記 URL から当社ホームページをご覧ください。なお、当面の間、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、福井県以外の地域からの受講申込みをお断りしています。ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

<http://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/index.html>

※QR コードは(株)デンソーウェブの登録商標です



◀こちらから敦賀総合研修センターのホームページをご覧ください



研修名	研修概要	研修期間	申込期限
労働安全衛生コース	従業員や作業員を災害から守るために、労働安全衛生法の基礎知識および安全管理の手法の一つである労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)について学びます。本コースは原子力作業現場に限らず、一般作業現場においても有益な研修です。	7月 5,6日	5月 26日
ヒューマンファクターコース	人間の特性を知り、仕事の中でのエラーを防ぐ対策を講じることが大事です。本研修ではヒューマンファクターの基礎知識(人間の基本特性や集団特性など)を理解するとともに、現場作業時のヒューマンエラーの防止方策を学びます。ヒューマンエラーとは人に起因する誤りのことであり、人為ミスとも呼ばれます。誰もが起こす可能性があるヒューマンエラーの防止方策を学ぶことはとても有益です。広く一般の方にもお薦めします。	7月 26日 (基礎) ・ 27日 (管理・事例)	6月 16日
クリアランス入門コース	原子炉施設の廃止措置などに伴い「放射性廃棄物として扱う必要のないもの(クリアランス)」が多く発生します。それらの概念やクリアランス測定方法などクリアランスに関する基本的な知識を学びます。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本コースについては、当面の間、発電所見学を中止しています。今後の状況などにより、発電所見学が可能となりましたら、ホームページを随時更新してまいります。	7月 30日	6月 18日

公開研修に関する
お申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター(敦賀市杵見165号9番地6)
電話: 0770-21-9700 FAX: 0770-21-9726(応募申込専用)
メールアドレス: tsuruga-tr-center@japc.co.jp